



学校だより

天王丘



令和6年1月9日(火)
第27号
観音寺市立柞田小学校
発行

長子配付

3学期スタート！ ～ “小さな目標” を大切に ～

本日、始業式を行い、3学期がスタートしました。子どもたちには、3学期のスタートにあたり、次のような話をしました。

柞田小学校のみなさん、おはようございます。

いよいよ3学期が始まりました。3学期、みなさんが登校するのは、六年生四十八日、一年生から五年生は五十一日です。2学期は、七十七日でしたから、3学期はすごく短いことが分かりますね。あつという間に過ぎていきますから、一日一日を大切に、特に六年生は小学校で過ごす最後の四十八日間ですから、充実した毎日を送ってほしいと願っています。

さて、この冬休みの間には、「命」の大切さを深く考える災害や事故が起きてしまいました。元日には能登半島を中心に大きな地震があり、百人を超える方が犠牲になってしまったということが起きました。また翌日には、東京の羽田空港で、三七九人を乗せた大きな飛行機と、地震の被災者に物資を届けるために飛び立とうとしていた小型の飛行機が衝突して、小型飛行機に乗っていた五人の方が亡くなりました。地震も事故も、全く予想できず、突然にやってきました。近い将来、香川県でも震度七の地震が来ると言われていますから、今回の地震を教訓に、家族とよく話し合って、備えておくことが大切です。また、飛行機事故では、大きな飛行機の方に乗っていた人が、短時間で全員が無事に脱出できました。客室乗務員の冷静な判断と乗客の落ち着いた行動が、その理由だと言われている、外国からも「奇跡」だと驚かれています。みなさんも、避難訓練をしています、いざという時、慌てずに落ち着いて行動することの大切さを改めて感じたことと思います。この二つの大きな災害と事故、遠くで起きたことかもしれませんが、決して他人事と考えず、自分事として考えて欲しいと思います。

このような悲しいニュースが多かった今年の冬休みでしたが、実は良いニュース、明るい話題も入ってきています。アメリカのメジャーリーグでも大活躍し、昨年三月に行われた世界大会で日本の世界一にも大きく貢献した、あの大谷選手から贈られたグローブが柞田小学校に届けられました。せっかくのプレゼントですから、みなさんの手で開けて欲しいと思っています。ぜひ、野球の楽しさを味わって欲しい、とのことですから、ぜひ3学期にたくさん使って欲しいと思います。

このように素晴らしい大谷選手ですが、大谷選手が高校一年生の時に書いた「目標シート」がありますから見てください。ど真ん中にある「ドラフト一位指名八球団」という目標にしてそのために必要なことを八つ書き、その八つの目標達成のために必要なことをさらに八つ書くつまりこの一枚の中に六十四の目標を書いているのです。中には、百六十キロの速球を投げるといふ、とてつもない目標もありますが、**誰にでもできる小さな目標**、例えば「ゴミを拾う」という目標があります。大谷選手は、自分の目の前にゴミが落ちていたら、誰が落としたりしたのか分からなくても必ず拾う、ということをやっています。目の前にゴミが落ちているのは、「運を拾うこと」と思うようにしているそうです。こんなすごい選手でも、この**小さな目標**を守り続けているということに、校長先生は人間としての魅力、偉大さを感じます。

そこで、3学期はぜひ、「**小さな目標**」を立てるところから始めてみて欲しいと思います。大谷選手からグローブという大切な贈り物をいただきましたが、このことをきっかけに、大谷選手から生きる上での大切なヒントをいただいたようにも感じます。「**小さな目標を立てて地道に続ける**」——このことをぜひ、大事にして、3学期を過ごしていきましょう。



【運動場から見た初日の出 2024.1.1】